年間授業計画　新様式

# 高等学校 令和７年度（１学年用） 教科 情報 科目 情報Ⅰ 年間授業計画

単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ E 組

教科担当者：（ A組： 松田 ）（ B組： 松田 ）（ C組： 松田 ）（ D組： 松田 ）（ E組： 松田 ）（ F組： 松田 ）

使用教科書：（ 最新情報Ⅰ（実教出版）、ベストフィット 情報Ⅰ（実教出版） ）

教科 **情報** の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|---|---|
| 情報と情報技術についての知識と技能、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法についての知識と技能を身につけるとともに、情報社会と人との関わりについては、情報に関する法規や制度及びマナーについて、情報と情報技術の理解と合わせて身につける。 | 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、複数の情報を結び付けて新たな意味を見出す力を養うとともに、問題を発展・解決する各団体で情報と情報技術を活用する過程を振り返り改善することで、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。 | 情報と情報技術を適切に活用することを通して、法規や制度及びマナーを守ろうとする態度、情報セキュリティを確保しようとする態度などの情報モラルを養い、これらを踏まえて情報と情報技術を活用することで情報社会に主体的に参画する態度を養う。 |

科目 **情報Ⅰ** の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|---|---|
| 効果的なコミュニケーションを実現するために必要な情報デザイン・コンピュータを活用するために必要な情報が処理される仕組み、データを活用するために必要な収集、整理、分析、プログラム、ネットワークなどについて理解し、技能を身につける。 | 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。 | 情報と情報技術を適切に活用することで、法規や制度及びマナーを守ろうとする態度、情報セキュリティを確保しようとする態度などの情報モラルを養い、これらを踏まえて情報と情報技術を活用することで情報社会に主体的に参画する態度を養う。 |

| | 単元名・指導項目・内容 | 単元の具体的な指導目標 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当時数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1学期 | ○オリエンテーション<br>・LL教室の使い方<br>・IDとパスワードの管理<br>・PCの操作方法 | ・IDとパスワードの管理方法を理解し、整理する。<br>・LL教室のPCの操作方法を理解する。 | | | | | 1 |
| | 第1章　情報社会と私たち<br>１節　情報社会<br>２節　情報社会の法規と権利<br>３節　個人情報の保護と管理 | ・情報の特性を踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法を身につけ、考える。<br>・情報に関する法規や制度、情報社会における個人の責任及びモラルについて理解し、それらの背景を科学的に捉え、考察する。<br>・情報と情報技術の適切かつ効果的な活用と望ましい情報社会の構築について考察する。 | 【知識・技能】<br>・データ、情報、知識の意味と相互の関係について理解している。<br>・情報の特性について理解している。<br>・情報と情報の技術の活用で加害者や被害者にならないための注意について理解している。<br>・情報社会と人間のかかわりについて考え、理解している。<br>【思考力・判断力・表現力】<br>・情報の特性によって生じる問題点をあげられる。<br>・加害者や被害者にならないための注意点を考え、適切に判断することができる。<br>・新しい情報社会について考察することができる。<br>【主体的に学びに向かう態度】<br>・SNSの活用など、不特定多数を対象としたコミュニケーションでの注意点を考え、自ら行動を振り返り、改善しようとしている。<br>・社会の中の情報システムについて、興味や関心を | ○ | ○ | ○ | 8 |
| | 第2章　メディアとデザイン<br>１節　メディアとコミュニケーション<br>２節　情報デザイン<br>３節　情報デザインの実践 | ・メディアの特性とコミュニケーション手段の特徴について、その変遷も踏まえて科学的に理解する。<br>・情報デザインが人や社会に果たしている役割を理解して、適切かつ効果的な情報デザインを考える。<br>・HTML＆CSSの書き方を理解し、情報デザインに留意しながらHPを作成する。 | 【知識・技能】<br>・メディアの特性とコミュニケーション手段の特徴について、科学的に理解している。<br>・効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法を理解し、表現する技能を身につけている。<br>【思考・判断・表現】<br>・目的や状況に応じて、情報と情報技術を適切かつ効率的に活用して問題を発見・解決する方法を考えている。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・より良いコミュニケーションを行うために自らの取組を振り返り評価し改善することを通して情報社会に | ○ | ○ | ○ | 13 |
| | 第3章　システムとデジタル化<br>１節　情報システムの構成 | | | | | | 1 |
| | 定期考査 | | | | | | 1 |
| 2学期 | 第3章　システムとデジタル化<br>１節　情報システムの構成<br>２節　情報のデジタル化 | ・コンピュータの構成と動作の仕組みについて理解する。<br>・アナログとデジタルの違いについて理解する。<br>・2進数の仕組みについて理解し、コンピュータでの数値計算に応用して考える。<br>・音声や静止画、動画、情報のデータ量について理解する。 | 【知識・技能】<br>・情報システムがサービスを提供する仕組みと特徴を理解している。<br>【思考力・判断力・表現力】<br>・情報システムが提供するサービスの効果的な活用について考える。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・情報システムにより提供されるサービスや情報通信ネットワークを目的に応じて適切かつ効果的に活用しようとしている | ○ | ○ | ○ | 13 |
| | 第5章　問題解決とその方法<br>１節　問題解決<br>２節　データの活用<br>３節　モデル化<br>４節　シミュレーション | ・問題解決の手順、問題の発見や明確化する方法について理解する。<br>・表計算ソフトの活用方法について理解する。<br>・データを適切なグラフや図に表現する。<br>・データ分析の手法について理解する。 | 【知識・技能】<br>・データを蓄積、管理、提供する方法について理解する。<br>・データを表現、蓄積するための表し方と、データを収集、整理、分析する方法について理解する。<br>【思考力・判断力・表現力】<br>・データの収集、整理、分析及び結果の表現の方法を適切に選択し、実行し、評価し改善しようとしている。<br>【主体的に学びに向かう態度】<br>・データを粘り強く多面的に精査し、データに含まれる傾向を自己調整しながら見出そうとしている | ○ | ○ | ○ | 16 |
| | 定期考査 | | | | | | 1 |
| 3学期 | 第4章　ネットワークとセキュリティ<br>１節　情報通信ネットワーク<br>２節　情報セキュリティ | ・情報通信ネットワークの構成について理解する。<br>・ネットワークを効果的に利用するための取り決めについて理解する。<br>・脅威に対する様々な安全対策や情報セキュリティを確保する方法と技術、情報を安全に取り扱うための技術について理解する。 | 【知識・技能】<br>・情報通信ネットワークの仕組みや構成要素、プロトコルの役割及び情報セキュリティを確保するための方法や技術について理解する。<br>【思考力・判断力・表現力】<br>・情報通信ネットワークにおける必要な構成要素を選択するとともに、情報セキュリティを確保する方法について考えようとしている。<br>・情報システムが提供するサービスの効果的な活用について考えようとしている。<br>【主体的に学びに向かう態度】<br>・情報セキュリティなどに配慮して情報社会に主体的に参画しようとしている | ○ | ○ | ○ | 4 |
| | 第6章　アルゴリズムとプログラミング<br>１節　プログラミングの方法<br>２節　プログラミングの実践 | ・アルゴリズムを用いてプログラムを表現する方法を理解する。<br>・変数や関数を使用したプログラムを作成する。 | 【知識・技能】<br>・アルゴリズムを表現する手段、プログラミングによってコンピュータを活用する方法について理解する。<br>【思考力・判断力・表現力】<br>・目的に応じたアルゴリズムを考え適切な方法で表現し、プログラミングによりコンピュータを活用するとともに、その過程を評価し改善しようとしている。<br>【主体的に学びに向かう態度】<br>・問題解決にコンピュータを積極的に活用し、自ら結果を振り返って改善しようとしている | ○ | ○ | ○ | 12 |
| | 定期考査 | | | | | | |
| | | | | | | | 合計 |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | 70 |